

- 農機を長く使用することは農機具費の低減に繋がるため、生産者が実際に点検箇所を確認しながらセルフメンテナンスができるよう展示会等を活用して研修会を行います。
- 動画を折り込んだチェックシートを配布し、セルフメンテナンスの啓発を行います。
- セルフメンテナンスを行うことで機械の性能を最大限に発揮し、作業時の故障リスクも低減できます。

〈部位ごとの解説動画を折り込んだチェックシートの活用〉

QRコードから解説動画を閲覧することで、生産者自らが点検に取組みやすくなります。

「動画でCHECK！」
で安全・安心

トラクタ
セルフメンテナンス

動画をみながら点検にトライ！
～機械を長持ちさせるための点検ポイント～

「農作業安全と燃費対策もあわせてチェック！」

JA全農〇〇 〇〇農機大展示会

1 エンジンオイル

動画でCHECK

【備考】 ● エンジン内部の潤滑や冷却、洗浄、防錆、密封を行います。
● エンジンオイルが不足したり劣化した場合、オーバーヒートや出力低下、白煙の発生をまねき、最終的には焼き付きの原因となります。

点検方法

- ① オイルゲージを抜き出し、きれいなウエスで先端のオイルをふき取り、汚れを確認します。
- ② 再度オイルゲージを差し込んだ後、抜き出してゲージの上限と下限の間にオイルが付着していることを確認します。
- ③ オイル量が不足している場合は、給油口から適量を補充します。

交換方法（推奨方法）

- ① エンジンオイルの交換はエンジンを暖機運転後停止し、十分冷えてから実施します。
- ② エンジン下部のドレンプラグを外してオイルを抜き取ります。
- ③ 完全に抜け切った状態でドレンプラグを元の状態に戻します。
- ④ 給油口からエンジンオイルを規定量入れ、5分程度放置した後、オイルゲージでオイルの量を確認します。
- ⑤ 少なければ給油、多ければドレンプラグを外し、抜き取ります。

● エンジンオイルは定期的な交換をお願いします。アワーメーターで100時間使用毎が目安です。
● 新車購入時は、最初の50時間で交換をお願いします。
● エンジンオイルの入れ過ぎは出力低下やエンジン全損の原因となりますのでご注意ください。

オイルゲージ先端
下限 上限
ドレンプラグ（エンジン下部）

2 エンジンオイルフィルター

動画でCHECK

【備考】 ● エンジンオイルのゴミを除去します。
● フィルターがゴミで詰まるとエンジンオイルの交換時期を早めるとともにエンジン寿命を縮める原因となります。

点検方法

- ① 外観からは判断できません。
- ② エンジンオイル交換2回に1回（またはアワーメーター200時間毎）は交換を行います。（新車購入時は最初の50時間経過後のエンジンオイル交換時にフィルターの交換も行います。）

交換方法（推奨方法）

- ① エンジンオイルが完全に抜けたらオイルフィルターをフィルターレンチを使用して外します。
- ② 新しいフィルターのOリングにエンジンオイルを薄く塗り、指定された向きで締め付けます。（基本的には手で締め付けます。）
- ③ エンジンオイルを給油後、エンジンを5分程度低速運転し、オイルランプの異常や漏れがないか確認します。
- ④ エンジン停止後、エンジンオイルの量を再度点検します。

エンジンオイルフィルター
フィルターレンチ

